

# カルチベーターを機能拡張 - 各種アタッチメント

草刈るチシリーズ、3本爪カルチベーターの機能を拡張する各種アタッチメントは、幅広い年式・型式に対応いたします。

## 《畦間の土塊をこっぴみじん》

### ■ゴロクラッシャー

<適応年式・型式>  
S52以降の全型式



ヒョウタン刃や深耕爪に浮かされた大きな土塊は、ゴロクラッシャーがこっぴみじんに砕きます。葉よけドロよけ側板付きなので、作物が小さいときにはゴロクラッシャーに砕かれてはみでた土が作物にかぶるのを防ぎ、作物が大きいつきはトラクターに踏まれた莖葉がゴロクラッシャーに巻き込まれるのを防ぎます。



<NAタイプ>

<NM・NJ・3本爪カルチ>

#### <NAタイプ>

- 装着方法  
スライドシャック形状で、チャックブラケット固定
- 高さ調整  
ハンドルによる無段階調整  
(正確な目盛付き)

#### <NM・NJ・3本爪カルチ>

- 装着方法  
深耕チャックに専用ブラケットを取り付けて装着
- 高さ調整  
ストッパーピンによる8段階調整

## 《狭い畦間でもしっかり砕土》

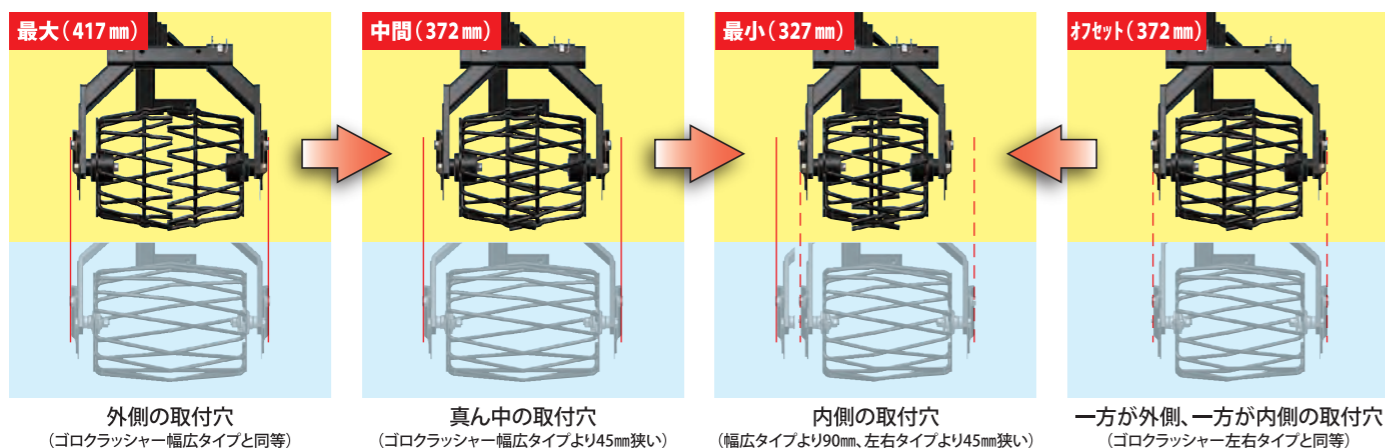
### ■ゴロクラッシャーSV (Split & Variable) (特許)

<適応年式・型式>  
S52以降の全型式



作用幅を変更できるゴロクラッシャーです。左右それぞれ3段階に取り付けることができ、ゴロクラッシャー幅広タイプと同等の作用幅を最大に、45mm狭い中間幅、90mm狭い最小幅のほか、ゴロクラッシャー左右タイプと同じオフセットなど、9通りの組み合わせができます。作物が成長して畦間が狭くなってもしっかりと砕土するので、長期に渡って使用できます。

※装着・調整方法はゴロクラッシャーと同じです。



最大(417mm)

中間(372mm)

最小(327mm)

オフセット(372mm)

外側の取付穴  
(ゴロクラッシャー幅広タイプと同等)

真ん中の取付穴  
(ゴロクラッシャー幅広タイプより45mm狭い)

内側の取付穴  
(幅広タイプより90mm、左右タイプより45mm狭い)

一方が外側、一方が内側の取付穴  
(ゴロクラッシャー左右タイプと同等)

※「ゴロクラッシャー」、「ゴロクラッシャーSV」は登録商標です。

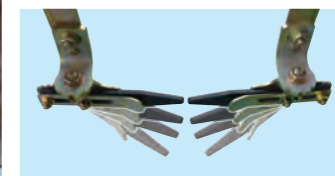
## 《土を削って、根際に寄せて、雑草退治》

### ■中・後期用 根際KY ブレード (特許)

<適応年式・型式>  
H4以降の草刈るチシリーズ



作物の中期以降に「株間輪(トガリ爪)」や「中期用 株間クサトリナー」に代わってお使い下さい。角度、伸縮調整が自在の特殊心材入りのゴム板が、CMS株間輪の平行リンクにより常に一定の作用深さを保ちながら、中期以降の作物の根際の土を削って、根際にソフトに寄せて、雑草の退治も同時に行います。



「KYブレードゴム取付金具」を固定しているナット1個を緩めれば、作用角度を自由自在に調整できます。



「KYブレードゴム板」と「KYブレードゴム押えプレート」は、別々に伸縮調整でき、作用幅、作用強さの調整も思いのままです。

## 《2畦移植の4畦処理、曲がった畦、横傾斜でも常に畦のど真ん中!》

### ■m・AROTリーナ (特許)

<適応年式・型式>  
H4以降の草刈るチシリーズ



自動畦追従機構『m・AROT (エム・アロット) (mechanical Automatic Row Tracer)』を搭載しており、曲がった畦や横傾斜のきつい畑、2畦移植の4畦処理など、あらゆる条件において常に畦の中心を捉え、作物には優しく、雑草には厳しく作用します。株間・根際の除草効果、作業能率、使いやすさを飛躍的に向上させます。

## 《豆类、ばれいしょの初期除草に最適》

### ■チェーン付くまで

<適応年式・型式>  
H4以降の草刈るチシリーズ



後部のおもり付チェーンが均一に作用するので、豆类・ばれいしょの萌芽前後の除草に最適です。チェーンを外すと、小豆の初期除草にも使用できます。取り付けは、「m・AROTリーナ」のm・AROTアーチと交換するだけです。また、畦の形状に対しては角度調整、土質に対しては荷重調整とあらゆる条件に対応いたします。

※取り付けには、m・AROTリーナ(中・後期用m・AROTリーナ)が必要となります。

※「KYブレード」、「CMS株間輪」、「トガリ」、「クサトリナー」、「m・AROTリーナ」は登録商標です。

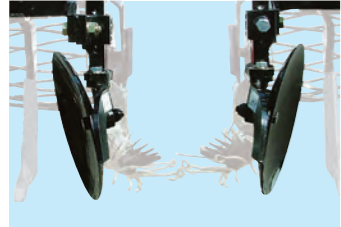
《幼少期の作物のカルチ作業が一変!》

■ ウイングディスク

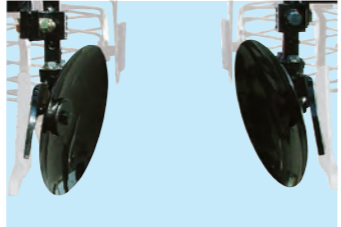
<適応年式・型式>  
S 5 2以降の全型式

土を割るように作用するヤナギ刃などの縦爪タイプとは異なり、湾曲したディスクが土を切るように作用します。ですから、幼少期の作物に土をかけることなく、根際まで中耕することができます。しかも、『草刈るチ』で使用の場合、株間輪との相性がバツグンで、株間輪の駆動用の短い爪がウイングディスクで削った溝にはまることで、株間輪がスムーズに駆動します。また、左右のディスクを入れ替えると、作物の上からソフトに土をかぶせる土寄せができるようになるので、ばれいしょの萌芽期培土などでキレイな土寄せができます。

<土削り>



<土寄せ>



- 作物に土をかけないので、ビート、豆類の初期除草に最適です。
- 根際の土を動かさないで、土壌処理剤の効果を長く持続させます。
- 根際にカドを作るので、除草クリーナーの効果を高め、手取り除草の能率を大幅に高めます。

- 作物の上からソフトに土をかぶせるので、ばれいしょの萌芽期培土に最適です。

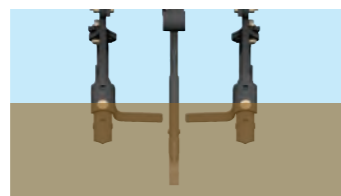
《畦間の中耕・除草効果がアップ》

■ やなブレード (特許)

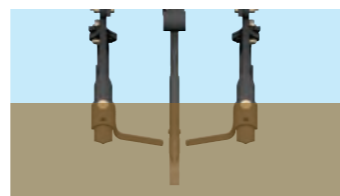
<適応年式・型式>  
S 5 2以降の全型式

ヤナギ刃と一緒に取り付けるだけで、畦間の中耕除草効果が上がります。

<取付位置 上側>



<取付位置 下側>



畦間の表層近くに作用するので、除草効果が上がります。

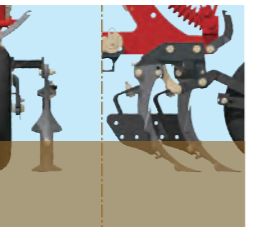
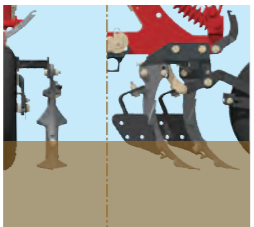
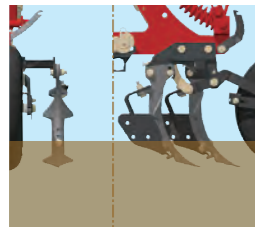
畦間の深い位置で作用するので、畦間をより広く膨軟にします。

《畦間の中耕・除草効果がアップ》

■ ヤナギ刃 (W95) (意匠)

<適応年式・型式>  
S 5 2以降の全型式

<取付位置 上側> <取付位置 真ん中> <取付位置 下側>



標準のヤナギ刃より作用幅55mmが広く、取付位置も3段階あるので、幅広くお好みの深さで中耕除草を行えます。また、やなブレードとの併用もできます\*。  
\*取付位置の組み合わせによっては、取り付けができない場合があります。

《横傾斜なのに『草刈るチ』が流されない》

■ コルタイヤ (特許)

<適応年式・型式>  
H4以降の草刈るチシリーズ



「ちょっとした横傾斜があると草刈るチが流されるから、株間輪やクサトリナーを使うの難しいよね。」「横傾斜で草刈るチを作物に合わせてトラクターを操縦するのは神経を使うから疲れる。」など、横傾斜の畑で草刈るチのご使用にお困りの方の問題を解消します。トラクターのタイヤで踏む場所を走る草刈るチのタイヤをコルタイヤ\*1に交換して取り付けて下さい。10°程度\*2までの横傾斜なら、まるで平らな畑で操縦するかのように正確な畦合わせができるようになります。「あれっ?うちの畑ってこんなに平らだったかな?」と思うくらい、コルタイヤがしっかりと草刈るチの横流れを防止してくれます。

\*1: NAK=15インチ, NMK・NJK=13インチ  
\*2: ほ場の土質や水分条件、トラクターの種類等によって変わります。

NAK用



15インチコルタイヤ

NMK・NJK用



13インチコルタイヤ

《湿った土でも作業深さが安定》

■ タイヤスクレッパー (特許)

<適応年式・型式>  
S 5 2以降の全型式



8インチ大径タイヤ装着状態

5インチタイヤ装着状態

畑が湿っているときにカルチ作業を行うと、タイヤに湿った土がベタベタりと付着し、タイヤの外径が変わって作業深さが安定しなくなります。『タイヤスクレッパー』を装着すると、付着した土を削り落とすので、作業深さが安定します。

\*: 草刈るチシリーズは標準装備

《場所を選ばず取付自在》

■ どこでもトレイ

<適応年式・型式>  
S 5 2以降の全型式



カルチベーターだけではなく、マルチャーなど、角パイプのサイズにさえ合えば、さまざまな機械に取り付けが可能な工具トレイです。向きや角度などお好みに取り付けることができ、工具などを機械と一緒に管理することができるようになります。

\*「ウイングディスク」、「やなブレード」、「ヤナギ刃」は登録商標です。

\*「コルタイヤ」、「どこでもトレイ」は登録商標です。

# 畦間の中耕・除草・培土のバリエーションを拡げる6種類の爪 — お好みの仕上がりとなる爪をお選び下さい —

写真は畦間の中心を基準に中耕・除草・培土をする6種類の爪<sup>※1</sup>で、時速4kmで処理した時の仕上がり<sup>※2</sup>(点線は処理前の地面の位置)です。お好みの仕上がりとなる爪をお選び下さい。

※1:表示以外にもさまざまなアタッチメントがございます。 ※2:土質、圃場の水分状態、作業深さ、作業速度など諸条件により変化いたします。

<h3>コンコル刃(W155)</h3>	<h3>コンコルド</h3>	<h3>スコツ刃</h3>						
<h3>カスベ刃</h3>	<h3>イーグル羽根</h3> <table border="1"> <tr> <td>(刃先小)</td> <td>(刃先大)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>		(刃先小)	(刃先大)				
(刃先小)	(刃先大)							
<h3>フレキシ培土器</h3> <table border="1"> <tr> <td>(刃先小のみ)</td> <td>(刃先小・ウイング・アッパー装着)</td> <td>(刃先大・ウイング・アッパー装着)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			(刃先小のみ)	(刃先小・ウイング・アッパー装着)	(刃先大・ウイング・アッパー装着)			
(刃先小のみ)	(刃先小・ウイング・アッパー装着)	(刃先大・ウイング・アッパー装着)						

## 《ひろく、浅く、美しく!!》

### ■ コンコル刃 (W155) (意匠)

<適応年式・型式>  
S 5 2以降の全型式

コンコルドより狭い約16cmの作用幅のため、より長期間、浅く、土をあまり移動させずに中耕除草ができます。なお、取り付け方は、上下2通りあります。



## 《狭く深い溝で収穫楽チン》

### ■ スコツ刃

<適応年式・型式>  
S 5 2以降の全型式

ヒョウタン刃とカスベ刃の中間的な作用幅で、収穫時のガイド溝として役立つしっかりとした溝を形成します。作物にあまり土を寄せないので、豆類の仕上げ前の軽い土寄せにも最適です。



## 《ひろく、浅く、美しく!!》

### ■ コンコルド

<適応年式・型式>  
S 5 2以降の全型式

約27cmの作用幅で、浅く、土をあまり移動させずに中耕除草ができます。

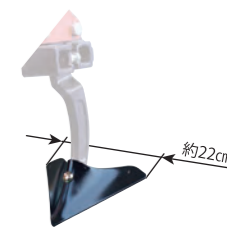


## 《軽い土寄せでキレイに仕上げ》

### ■ カスベ刃

<適応年式・型式>  
S 5 2以降の全型式

豆類・ビートの仕上げなど、極めて少ない土量の土寄せに最適です。



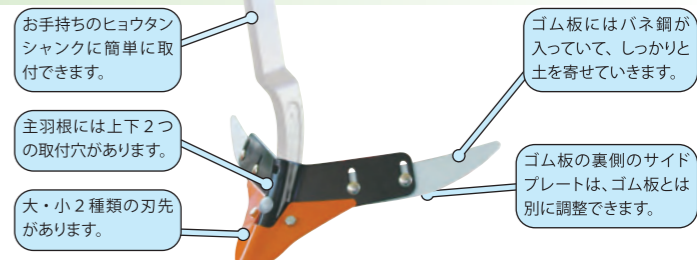
## 《カスベ刃じゃ物足りない、フレキシ培土器じゃあ大きすぎるという方へ》

### ■ イーグル羽根 (EW-01) (特許)

<適応年式・型式>  
S 5 2以降の全型式

ヒョウタンシャックに専用ボルトで取り付けるだけで、カスベ刃のように畦間は浅く、フレキシ培土器のように根際にはしっかりと土を寄せることができます。なお、取り付け方は、上下2通りあります。そのうえ、両脇のゴム板も伸縮や上下反転、取付角度、高さなど自在です。さらに、刃先も大・小2種類\*あるので、バリエーション豊富にセッティングができます。

\* 刃先(大)が標準装備です。刃先(小)が必要な場合は別途料金が発生いたします。



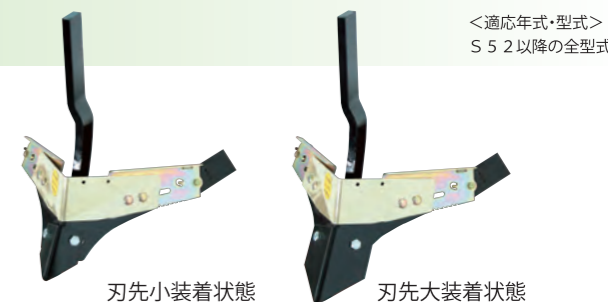
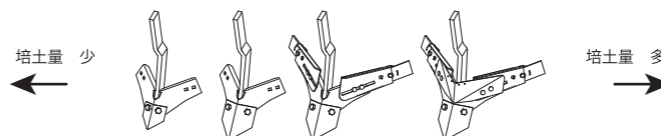
## 《お好みの土量、形状に仕上げる調整自在な培土器》

### ■ フレキシ培土器 (FR-01)

<適応年式・型式>  
S 5 2以降の全型式

フレキシブル(自在)に培土量、土の逃がし方を調整できる培土器です。培土量はウイングの出し入れ量、土の逃がし方は3段階に角度調整ができるウイング先端のゴム板で、それぞれ簡単に調整ができます。しかも、4ピース構造で、そのうえ、大小2種類\*の刃先の取り付けができるので、組み合わせ方しだいで用途の幅が一段と広がります。

\* ご購入の際にいずれかの刃先をお選び下さい。



※「コンコル刃」、「コンコルド」、「スコツ刃」、「カスベ刃」、「イーグル羽根」、「フレキシ」は登録商標です。

《幅広い畦幅に対応…ベーシックばれいしょ培土器》

■ カマボコ培土器 (KR-725)

＜適応トラクター＞ 33kW(45PS)以上 ＜適応畦幅＞ 66～75cm  
 ＜適応カルチベーター＞ ニチノー NC・NS・NM・NAシリーズ



カマボコ培土器 (KR-725) は、ニチノーの今までの培土器 (KR-75, KR-72, KR-721) の良い所を凝縮した慣行時期培土器です。ばれいしょの生育範囲を大きく保つために山を高く、窒息しないように柔らかく、崩れないようにしっかりとしたカマボコ型を、プラスチック製こすり鎮圧板できれいに形成します。しかも、ラバープレートが根際までしっかりとソフトに土を寄せるので、てっぺんには凹みができず、水が溜まることによる緑化イモの発生を防ぎます。そのうえ、適応畦幅が66～75cmと幅広く、培土後の溝幅も12cmと広いので、管理作業で畦間に入る必要が多い方に最適です。



《早期、慣行、修復…時期を選ばずしっかり培土》

■ 早慣カマボコ培土器 (SKR-75) (特許)

＜適応トラクター＞ 33kW(45PS)以上 ＜適応畦幅＞ 72～75cm  
 ＜適応カルチベーター＞ ニチノー NC・NS・NM・NAシリーズ

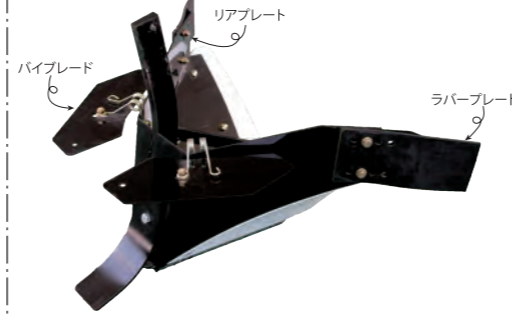


カマボコ培土器 (KR-725) よりも培土量が格段に多い (右ページ上段をご覧ください) 早慣カマボコ培土器 (SKR-75) は、培土器両脇のアタッチメントを付け替えるだけで、「慣行時期培土」、ロータリーカルチ\*を使用した「早期一発培土」、培土後の表面に発生してしまった地割れや崩れた山を修復する「修復培土」など、あらゆる時期や条件に応じて使用できる培土器です。ただし、適応畦幅が72cm以上のため、畦幅が72cm未満の場合はKR-725をご使用下さい。

※：ロータリーカマボコアダプターが必要です。

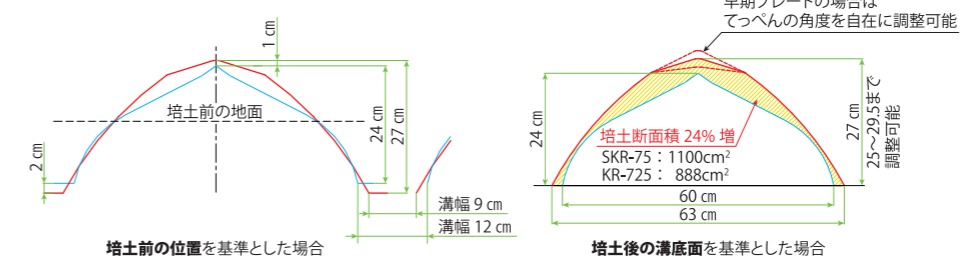


早期プレートが頭のてっぺんまでキレイにこすり落とします。しかも、てっぺんの角度は7°～27°まで調整できます。

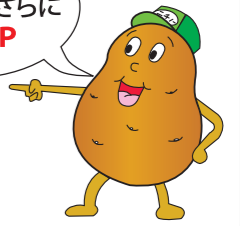


パイブレード\*が土量をしっかりと保ち、ゴム板(角度調整不可能)で根際までしっかりと土を寄せます。  
 ※：ロータリーカルチで培土をする場合はエプロンがあるので不要です(取付不可)

KR-725との比較(畦幅72cmの場合) — SKR-75 — KR-725



スゴイ!  
断面積でさらに  
24%UP

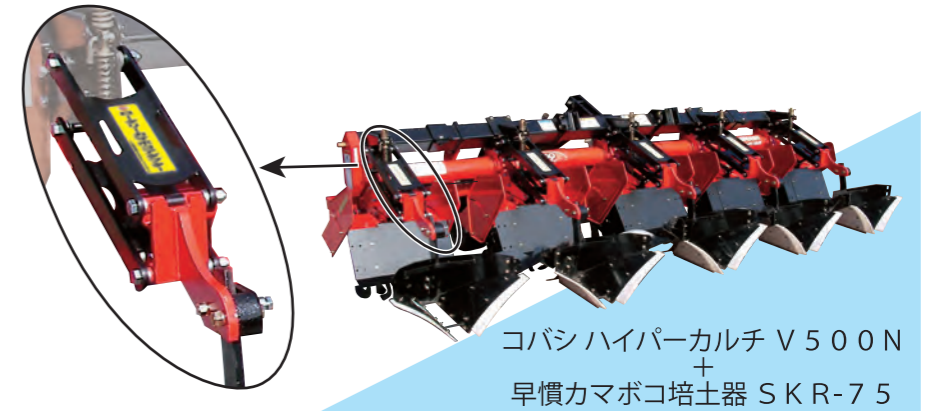


《カマボコ培土器とロータリーカルチがドッキング》

■ ロータリーカマボコアダプター

＜適応機種＞  
コバシハイパーカルチ (V300(N)・V500(N))

コバシ「ハイパーカルチ」に専用のアダプターを取り付けるだけで、(早慣)カマボコ培土器がロータリーカルチで使用できるようになり、土塊の少ないロータリー培土ができるようになります。「ハイパーカルチ」が土壌を細かく粉碎するので、土質や水分状態に左右されず、慣行時期培土、早期一発培土を低コストで行なえます。しかも、培土器が砕きたての土を高く、柔らかく、崩れない、最高の仕上がりを提供いたします。収穫のときに、ハーベスターのコンベヤに土塊が上がらないので作業効率アップに大きく貢献いたします。

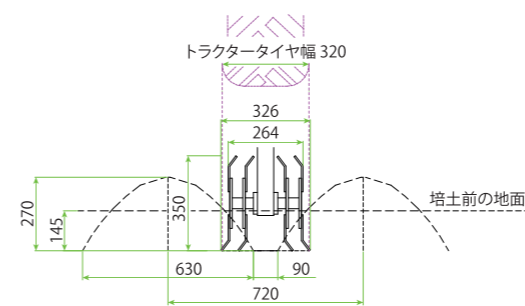


コバシハイパーカルチ V500N  
+  
早慣カマボコ培土器 SKR-75

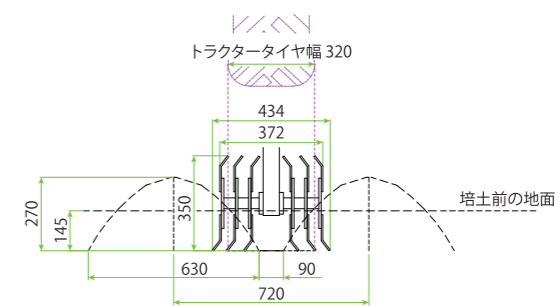
コバシハイパーカルチ V500N装着時

「ハイパーカルチ」がトラクターの踏圧で出来た硬盤層をしっかりと砕くので、硬い土壌層のないソフトな培土ができます。使用する時期に応じて作用幅(フランジの枚数)を変えるとより効果的な培土が行えます。

2フランジ装着時(慣行時期培土におすすめです)



3フランジ装着時(早期一発培土におすすめです)



＜ご注意＞  
ストロンを傷つけないためにも生育状況に合ったフランジ枚数で作業されることをお勧めいたします。また「ハイパーカルチ」の使用に際しては、「ハイパーカルチ」の取扱説明書をお読みになってからご使用下さい。

◎ 培土器は、なぜカマボコ型がいいの?

ばれいしょ培土に定評の「カマボコ培土器」・「早慣カマボコ培土器」ですが、なぜカマボコ型の培土器がいいのでしょうか。

1. 培土容積が大きいのに崩れにくいので、ばれいしょの生育範囲にゆとりがあります。
2. 適応畦幅、適応時期が広く、お客様のニーズに合わせて使用できます。
3. 「ニチノー」カルチベーターとの相性はバツグン!! 特に、「みらくる草刈るチ (NAK)」と絶妙のコンビネーションで安定した培土を提供いたします。
4. コバシ「ハイパーカルチ」と専用アダプターを使用すれば、土塊の少ないロータリー培土もできます。

※「早慣カマボコ」、「パイブレード」、「草刈るチ」は登録商標です。※「ハイパーカルチ」は、小橋工業株式会社の登録商標です。